

がん教育実施報告書

学校名		郡山市立高瀬中学校			
実施対象者 (学年・保護者など)		2・3 学年			
教育課程の位置づけ		体育・保健体育	道 徳	学級活動・HR 活動	講演会・行事 その他 ()
実 施 日 時		令和 7 年 10 月 7 日 (火) 13:30～14:20			
打合せについて		【1回目】方法： 電 話		内容：時間・場所・内容等の確認	
		【2回目】方法： メール		内容：具体的な資料内容の確認	
外部講師 職・氏名		職名： 保健師	氏名： 鈴木 理恵子	遠藤 香菜恵	
実 施 内 容		【テーマ】がんの基礎知識を知ろう			
		1 がんとは。日本の現状 がん細胞は、細胞分裂時のコピーミスによって起こる。がん細胞の分裂(経過年数)とがんの大きさ(10～20 年で 1cm、その後 1～2 年で 2cm)。がんの症状は普段体調不良で感じる症状と似ている；検診が大切。1981 年からは日本の死亡原因 1 位。2 人に 1 人ががんにかかる。昔は胃がんが多かった；塩分の摂りすぎ。現在は乳がんや大腸がんが多い；食事の欧米寄り。			
		2 がんの予防と生活習慣 主ながんの原因；たばこ・感染・酒・塩分。福島県喫煙率；男性全国 1 位女性全国 2 位、食塩摂取量；男女ともに全国 2 位。受動喫煙の害；年間約 15000 人死亡。カップラーメンや調味料にも含む塩分量；汁を飲まない、食べ過ぎない。バランスの良い食事の勧め、野菜摂取の目標量；350g。適正体重の維持。感染予防のためのワクチン接種。ストレスをためない。			
		3 検診と治療 がんの広がりとは 5 年生存率、検診の種類、がん検診の全国と郡山の受診の比較、治療法、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン等について。			
		4 患者さんへの理解 身体(がん自体が引き起こす痛み・治療に伴って生じる痛み)と心の痛み、チーム医療、がん患者さんへの言葉かけ、がんとの向き合い方等について。			
		* 児童生徒等の反応や感想 ○日本人の 2 人に 1 人ががんになり、3 人に 1 人が亡くなってしまうことを知り、自分の生活を見直そうと思った。元々野菜が好きではなく、食べなくてもいいと思っていたけれど、これからはできる限り野菜を食べるようにしたい。 ○がんには段階があって、初期であれば 9 割以上が治るということを知った。この先しっかりとがん検診を受けていきたい。 * 実施主体として、外部講師を活用してよかった点について 専門的立場から、がんの基本的知識全般に渡り的確に説明いただけたことが良かった。特に資料が豊富でわかりやすかった。			
成 果 等					